

## 令和4年度 天神川水害タイムライン検討会 第1回検討会

### 議事概要

(日 時) 日時：令和4年6月7日(火) 15:00～

(会 場) 倉吉河川国道事務所 会議室 (Web会議併用)

(議事内容)

- (1) 開会挨拶
- (2) 天神川水害タイムラインの概要
- (3) タイムライン読み合わせについて
- (4) 総評
- (5) 今後のスケジュール等について

#### 1. 会議概要

令和4年度の出水期を前に、大規模な水害に備えるために天神川水害タイムライン検討会を開催した。担当者が変更となった関係機関もあることから、これまでの検討経緯やタイムラインの概要を説明し、タイムライン運用時のイメージを持つために、各タイムラインレベルで想定される状況や関係機関の主な行動の確認を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からweb会議併用での開催とした。

##### (1) 開会挨拶

倉吉河川国道事務所副所長と座長より開会の挨拶を行った。

##### 【副所長挨拶】

天神川水害タイムラインは、天神川において関係機関が連携し、住民の命を守る、さらに経済被害を最小化することを目的として、令和2年5月に策定したものである。

令和2年の出水期から運用を開始し、昨年に初めてタイムラインの立ち上げを行った。実際に利用したことでわかったさまざまな問題を解消し、次回に備えて挑戦することができたことは良かった。

このように台風や大雨による大規模な水害への備えとして、関係機関が連携しながら、お互いの行動をタイムラインにより事前に把握していくことは大変重要である。

今回の検討会では、新年度で担当者が変更となった機関もあるので、改めてタイムラインの説明と合わせて、運用方法等について再確認する。

## 【座長挨拶】

天神川水害タイムライン検討会は令和元年に発足し、実際に運用して、そのたびに改良を重ねてきた。タイムラインを発動してその効果を検証するという繰り返りで少しずつ良いものになっていく。特に、情報共有システムについてはより使いやすいように、そしてどの機関の方も充分利用できるように作成している。

年度が変わりメンバーも変わっているため、本日はタイムラインの概要と読み合わせを行うが、もし疑問点があれば今日でも、後日でも構わないので意見を願います。皆さんがタイムラインに慣れていただくということ、そしてより良いものにしていくことをお願いできればと思う。

令和元年発足当時の合言葉は、「逃げ遅れゼロ」で、この検討会のキーワードでもある。一致団結して「逃げ遅れゼロ」を目指して進めたい。

## (2) 天神川水害タイムラインの概要

事務局からタイムラインの検討経緯やタイムライン作成の主なポイントと概要（タイムライン詳細版、総括版、概要版、運用支援ツール、運用方法）、令和3年度の検討会後の変更点を説明した。

さらに、令和4年度より指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表することやこれに伴うタイムラインレベルの移行について説明した。

## 【座長コメント】

担当者の変更により初めて参加される方もいる中で、既にタイムラインをご存知の方もいるかと思うが、要するに台風が迫ってくると、次第に雨風が強くなり、避難しなければならない状況になり、段々緊急度が増すが、その中で各機関の方々が何をしているのかを横に見て、連携するという思想がタイムラインのベースにある。

そして、このような出水期前の検討会の場でいま一度再確認し、出水期を迎え、秋ごろの反省会で何が良かったのか、何が悪かったのかを振り返り、次に繋げるということを行いたい。

事務局から説明があったが、おそらくわからないこともあると思う。「自分の機関はこうやっているが、他ではどうやっているのか」ということ等があれば、疑問を残さずに、今回でも後日でもよいのでどんなことでもお尋ねいただけたらと思う。

## (3) タイムライン読み合わせについて

関係機関の担当者がタイムライン運用時のイメージを持つために、各タイムラインレベルで想定される状況や倉吉河川国道事務所から発信されるメール文案、各関係機関の主な行動を事務局より説明し、関係機関全員で確認した。

さらに、運用支援システムについては、実際の画面を用いて確認できる情報を説明した。

#### 【座長コメント】

設定したシナリオに対して、どのような流れになるかということを経務局から説明した。一部抜粋のため、各機関の皆さんには今一度、総括版を見て確認していただきたいが、概要がこういうものだということだけでも理解していただけたらと思う。

運用支援システムには、各機関が有している情報が収録されている。実際にご自身でパソコンやスマホ、タブレットでアクセスして、これらの情報をいざという時に使えるようにしていただきたい。自分で情報を探そうと思っても難しいため、この運用支援システムは非常に有用だと思う。

#### (4) 【座長 総評】

令和4年度の第1回の検討会だが、概ね半分ぐらいの方が新しい方と思う。鳥取県は、比較的それほど大きな水害が起こっていないが、今年度に発生しないという保証はなく、昨年度はタイムラインを立ち上げており、今出水期もいざとなった時に皆さんが動かないといけない可能性は十分にある。

そのため、今一度、タイムラインで自機関の行動を確認して、準備していただきたい。疑問点はどんなことでもそのままにせず、尋ねてほしい。

タイムラインの運用支援システムは、後日 URL が連絡されるそうなので、操作して慣れていただきたい。プライベートでも、仕事でもよいので普段から使っているといざというときに欲しい情報を見ることができる。使っていないとすぐに忘れてしまうので、日頃から使っていただくということが大事である。

タイムラインを通して「逃げ遅れゼロ」ということで水害による被害を少しでも減らせるようになればと思う。

また、コロナが少しずつ収束に向かうということを願って、いつかは全員が一堂に会して、このタイムラインの検討会ができることを願っている。

ありがとうございました。

#### (5) 今後のスケジュール等について

事務局から今後の予定として、総括版や運用支援システムの URL の配布予定、出水期での運用後の流れを説明した。

以上